

# 事業結果要約報告書

受付番号

2018 KJ-027

—科学技術振興関係—

平成31年 1月30日

所属機関名 松江工業高等専門学校

申請代表者

役 職 情報工学科 准教授

フリガナ イナバ ヒロシ

氏 名 稲葉 洋

マツダ財団から受けた 助成金 150 千円 による事業結果について、  
次のとおり報告します。

助成事業名

バーチャルリアリティを体験：スマホとダンボールメガネを使って360度ぐるっと見  
てみよう (事業期間：2018年8月1日～2018年12月31日)

計 画

実 施 結 果

事  
業  
内  
容

日時 2018年8～12月  
場所 松江工業高等専門学校  
対象 小中学生  
定員 16人(小中学生16人、保護者0人)  
内容  
簡易的な機材を用いて、映像に基づくバーチャルリアリ  
ティを体験させる。

日時 2018年8月24日、12月9日  
場所 松江工業高等専門学校  
対象 小中学生  
参加者(人) 36人  
内訳(生徒;18人)(保護者;18人)  
内容  
簡易的な機材を用いて、映像に基づくバーチャルリアリ  
ティを体験させる。  
講演; 件、発表; 件、シンポジウム; 件

## 事業の目的・ねらい

本事業では、近年関心が高まるバーチャルリアリティ（VR）に注目し、簡易的な機材を用いて受講者に最新の映像技術を体験させる。また、現在 VR を通じてできること（視覚に限らず人間の五感を置換する・拡張する VR の役割）を知らしめ、情報技術と未来とのつながりを考えさせる。

## 事業の概要

本事業では、スマートフォンと組み立て式の VR ゴーグル（既成品）とを組み合わせた簡易的な VR 体験装置を作成する。この装置を使い VR 動画（全天球映像と呼ばれる、撮影者を中心とした前後上下 360 度の視界を撮影した映像）を観賞する。また、全天球カメラを使い撮影した映像を、作成した装置を使い観賞する。事業では、上記実習のほかにも VR の応用事例の紹介や実習内容の解説など VR 理解のための簡単な講義を実施する。本事業の対象は、コンピュータ・映像技術に関心がある小学生高学年から中学生である。また、本事業は 2 時間程度で実施する。実施当日のスケジュールを以下に示す。

### <スケジュール>

1. 講義：VR とは、VR でできること（15 分）
2. 実習：
  - VR ゴーグルの組み立て（30 分）
  - VR 動画の観賞：VR ゴーグルを使い、映像配信サービス YouTube で閲覧可能な五つのテーマの VR 動画（自然、動物、スポーツ、スリル、社会）を観賞する（30 分）
3. 講義：360 度ぐるっと見える仕組みの解説（15 分）
4. 記念撮影会：参加者の集合写真を VR 動画として撮影し観賞する（30 分）
5. アンケート記入（本事業の評価に用いる）

## 成果・効果

本事業を 2018 年夏（参加者 7 名）と冬（参加者 11 名）の 2 回実施した。募集に際し、定員を大きく超える応募があり関心は高かった。参加者は全員小学校 5・6 年生であり、男女比はおおよそ 2 対 1 であった。

実施内容について、アンケートから参加者の満足度は非常に高かったことがわかった。特に、VR が簡単に体験できることやこのような技術が様々な場面で役立っていることがわかったなどの意見があり、事業のねらいは参加者におおむね伝わっていた。以下、アンケートに記載されたコメント（一部、原文ママ）を挙げる。

- かんたんに VR が作れてたのしかった。こんなに簡単に VR や 360° の映像がとれるなんて思いませんでした。親もいい体験させていただきました。ありがとうございました
- 今後も、このような楽しい学習会を期待しています。子どもが、科学への興味を深める良い機会、また、将来高専にも興味を持つ機会でした
- 親としては、VR というとゲーム…などつながりそうで、参加するならラジオ作りやロボット作りなどもっと役に立ちそうなものかと思っていましたが、実際に体験してみても子供がこういう技術を身近に感じたり、楽しく使えるのは良いことだなあと感じました

## 写真、図



図 1 講義風景



図 2 実習風景



図 3 記念撮影会